

玄海だより

玄海原子力発電所
Vol.247
2023年9月



呼子大橋(唐津市呼子町)

子どもカフェとSDGs

呼子町地域婦人会 会長 谷口 繁美

呼子公民館と連携して行っている「子どもカフェ」は、地域婦人会の仲間と協力し合い、そして地域の方たちにも支えられ、今年で8年目を迎えます。

年4〜5回程開催するこの子どもカフェでは、町内の空き缶拾いや魚釣り、餅つき等を体験した後、参加した地域の方たちと一緒に食事をします。

最近では、核家族や共働き家庭も増えたため、一人で食事をする子どもも多いと聞きます。

大勢の中で食事をしている子どもたちの顔を見ると、最初は恥ずかしさ戸惑いが感じられますが、体験を共にしたみんなとの一体感により徐々に打ち解け、自然とよい雰囲気になり笑顔が出てきます。

そんな過程が垣間見えるのも私たちの楽しみになっています。

食事の形態を工夫して、時には避難所体験と称し、一列に並んでお弁当の受け取りをしたり、おにぎりを片手に釣った魚でバーベキューをしたり。

ただ、自分が釣った魚は分かるらしく、持ち帰って親に見せたいとの希望が多かったことは、想定外でした。

餅つきも、女の子・男の子問わず希望者みんなに杵を持つてもらいます。

空き缶拾いでは、小さなゴミまで拾ってくれて、町が綺麗になります。これまでは暑い時期に実施していましたが、公民館長の配慮もあり、今年からは涼しい季節になるまで待つています。

空き缶も貴重な資源です。これからは「空き缶拾い」ではなく「お宝探し」と称して、SDGsにも取り組んでいきたいと思っています。

九州電力からのお知らせ

【お知らせ】玄海原子力発電所における非常用サイレンの吹鳴について

佐賀県原子力防災訓練における玄海原子力発電所の訓練において、原子力災害の発生を発電所構内の作業員にお知らせする非常用サイレンの吹鳴を予定しています。

サイレンの音が発電所敷地外まで響く可能性があります。発電所の異常によるものではありませんので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

日時 令和5年10月14日(土) 1回目:8時25分頃
2回目:8時55分頃

玄海原子力発電所



展示館50周年記念イベント開催のお知らせ

玄海エネルギーパークは、前身の展示館開館から今年で50周年を迎えました。

これまで640万人を超える多くのお客さまにご来館いただいたことへの感謝の気持ちと、これからも地域の皆さまに愛される施設を目指し、記念イベントを開催いたします。

皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

10月1日(日) 第1弾

時間 9時~16時

場所 玄海エネルギーパーク(佐賀県東松浦郡玄海町)

主なイベント

- ・動物ふれあいパーク
- ・エア遊具
- ・九電吹奏楽部ミニコンサート※
- ・さんさんマーケット
- ・玄海町周辺の物産販売
- ・キッチンカー出店
- ・その他体験型ゲームなど

※演奏予定時間:12時30分~14時00分~



詳しくは
玄海エネルギーパーク
公式サイトへ

キッチンカーも集合!



/ 動物ふれあいパーク \



/ エア遊具 \



/ 九電吹奏楽部ミニコンサート \



サイエンス館入口広場は見えて・食べて
楽しいマーケット広場に。

/ さんさんマーケット \

写真はイベントのイメージです。

第2弾 10月8日(日)、15日(日)9時~16時30分 主なイベント内容 映画上映、数あてクイズなど

Instagram 九電グループInstagramページ



Facebook 九電グループFacebookページ



呼子町民の心の絆がより深く

「親子鯨」の山車が、呼子くんちを盛り上げる

海辺の町・呼子に本格的な秋の訪れを告げる「呼子くんち」が、10月14日(土)・15日(日)の2日間行われます。その主役が、昨年お披露目された山車「親子鯨」。白い優美な姿が、今年も町を練り歩きます。



(右)鯨組主中尾家屋敷に飾られている親子鯨山車。(左上)お話を伺った呼子くんち実行委員会会長の山下正雄さん。(左下)法被には献上唐津の図柄を元にした「鯨」がデザインされている。

祭りで生まれる人の心の一体感もう一度それを復活させたい

昔も今も「祭り」というのはそこに住む人々の心をついに団結させるもの。祭りに向けての準備や次第に高まる高揚感が、郷土愛を呼び起こします。

呼子町でも戦前までは、町内の各神社を起点に各地区が山車を作って競い合い、町全体が活気で沸き上がりました。

しかし戦後は山車制作も次第に廃れ、町制50周年や呼子大橋開通など節目の時期のみの開催に。平成17年の唐津市合併以降は呼子町としての盛り上がり機運も減少していました。

これを危惧したのが、かつて市議も務めた山下正雄さんをはじめとする有志の方々。折しも「鯨組主中尾家屋敷」オープンもあり、「もう一度新たな「山車」を作って、呼子町の心のシンボルにしたい」と決意したのです。

思わぬ資金援助の申し入れ
山車制作も世界的作家から

最大の難関は山車の資金でしたが、思わぬ支援の手が差し伸べられました。唐津市出身の実業家・進藤幸彦さん・宏子さんと夫妻とその息子の進藤さわとさんから寄付申し入れがあったのです。山車制作は世界的に著名な和紙アーティスト・堀木エリ子さんが手がけることになりました。

堀木さんは何度も呼子町に通い、町に伝わる「親子鯨の弁天参り」の民話を参考に制作を開始。これを受けて町としても応援態勢を整え、「クラウドファンディング」で呼子くんち開催の支援を募ることに。全国から支援が相次ぎ、無事に目標以上に達したそうです。

やさしく優美な親子の鯨
見守る町民の心に響くお囃子

昨春秋、町に運び込まれた「親子鯨」の山車。白い和紙は細かく優美な装飾に彩られ、目はやさしく光り、勇壮に尾をはね上げています。

曳き手の法被は、これに合わせて陶芸家の中里太郎右衛門さんによりデザインされました。中里家に伝わる献上唐津の「鯨」を描い



(上)2022年の呼子くんちの様子。親鯨山車が練り歩き活気づく朝市通り。(下)夜にはやさしく明かりを灯し海上巡航に向かう。写真提供:津津呂進さん

たもので、捕鯨で栄えた呼子にびつたりです。数十年ぶりに呼子の町に復活した山車の曳き手には、大綱引振興会の若手が手を挙げ、子鯨の山車は子どもたちが曳くことに。「千越大漁祝唄」をベースに、唐津出身の篠笛奏者・佐藤和哉さんが編曲したお囃子が祭りの賑わいを盛り上げます。

沿道に集まった町内外からの見物客の盛り上がりは予想をはるかに超え、「開催してくれてありがとう」との声もあちこちから。声援の中、2体の鯨は秋風を受けてゆつたりと進み、夜には中に明かりを灯して海上を巡航し、「親子鯨の弁天参り」を再現しながら、人々の目を楽しませたのです。

それから一年。中尾家屋敷で静かに休んでいた親子鯨は、再び今年のくんちに動き出します。子どもたちの「よいやさー」の掛け声も高らかに、秋の青空に映えることでしょう。呼子町民の新たな誇り、心のシンボルとして。

●お問い合わせ

呼子くんち実行委員会事務局
TEL 0955-18210309

詳細はホームページをご覧ください



百済武寧王がつなぐ絆

加唐島で誕生から古代交流

16

加唐島の神功皇后伝説

百済中興の祖・25代武寧王が生誕した地・加唐島。『日本書紀』によると、461年、百済から玄界灘を渡って倭に派遣された妃が筑紫の各羅島(加唐島)で男児を出産。この男の子が後に武寧王となるのです。一方、この加唐島は神功皇后伝説が残る島でもあります。武寧王と同じく『日本書紀』に登場する神功皇后は、北九州から三韓征伐に向かう際に懐妊しており、加唐島で帯祝いをしたという伝承があるのです。その場所は「オビヤ浦」という地名になって残り、帯祝いを使ったとされる井戸も遺されています。この話が加唐島での武寧王生誕の伝説と重なっているのは何故でしょうか?慶北大学の文暉鉉(ムンギョ)教授は「九州のなかの朝鮮」(明石書店)の中で「神功皇后が架空の人物であり、後代に武寧王伝説が神功皇后伝説にすり替わったと見える」と語っています。私も武寧王の研究を始めたころは日本書紀の記述に戸惑いを感じていました。しかし、それを解決してくれたのが武寧王陵の発見(1971年)です。卑弥呼から聖徳太子の時代、東アジア世界では中華思想に基づき、王様にシャーマンや神道的素質を求めました。そこから出土した買地券(はいちけん)(墓誌石を含む)により、当時王が神様から買ったものと判明。

武寧王が加唐島で461年に誕生したとする『日本書紀』の記述が裏付けられたのです。加唐島ではこの歴史的事実を地域おこしにと「百済武寧王生誕地記念碑」の建立を計画し、これをシ

ンボルに日韓交流を進めていきました。その中で『金石文に見る百済武寧王の世界』(彩流社)を著した第一人者・蘇鎮轍(ソジンチョル)氏の存在は大きなものです。氏は韓国歴史学会外交部会長をされていたので唐津で数回杯を交わすことができ、また何度も電話をいただくなど懇切丁寧にご指導いただきました。

今年2023年は武寧王の没後1500年。一昨年は武寧王の百済強国宣言から1500年、そして武寧王陵発見50年の節目の年でしたが、コロナ禍のため交流できませんでした。いまは政治的にも日韓のシャトル外交が再開し、日韓関係の好転が期待されます。今年6月には加唐島で韓国側も参加する4年ぶりの武寧王生誕祭が行われました。9月には韓国の百済文化祭が開催されます。公州の公山城広場に建立された武寧王の銅像の下で公州市の「武寧王国際ネットワーク協議会」の方々や市民とお会いし、旧交を温めたいと思います。日韓のイベントでは唐津市民(林之上公磨/本名 富岡公一さん)が作詞した「ニリムセマ」(思い出の加唐島)が、東アジアを結ぶ歌として高らかに歌い上げられています。唐津は東アジア世界の門戸。その原点となったのが、武寧王が生まれた加唐島。世界に誇れる財産です。

※王様でさえもお墓に関しては神様に敬意を払いお金を払わないといけないことになっており、武寧王陵には銭1万円が見つかっています。



まつろ・百済武寧王国際ネットワーク協議会顧問 熊本 典宏 (唐津市鎮西町)

プロの味を我が家に



カレー風味イカ飯

材料 (2人分)

- イカ(中)・・・2杯
- 冷凍カレーピラフ・・・適量
- バター・・・小さじ2程度
- 塩・コショウ・・・少々
- 白ワイン・・・少々
- 水・・・少々

作り方

- イカは足・ワタ・軟骨を抜き取って、中をきれいにします。
- イカの胴に冷凍カレーピラフを、箸などでギュッと押し込むようにきっちり詰め、爪楊枝で留めて塩・コショウをする。
- 熱したフライパンにバターを入れ②を焼く。裏返して白ワインと水を加え、蓋をして5分蒸し焼きにする。
- 最後に蓋を取って水分を飛ばす。

ワンポイント /

足も一緒にバター焼きにするともう一品できます!

呼子の名物といえは何ととっても「活きイカ」。全国からその味を求めて観光客が訪れます。料理旅館として64年の歴史を持つ「海辺の宿清力」でも、厨房を預かるご主人小林昌克さんが慣れた手つきで素早くイカをさばく毎日です。

「刺身」や「天ぷら」などに飽きてちよつと目先の変わったものを……というお客さまには、前菜として「イカ飯」を出すことも。家庭でも手軽に作れる方法を教えてもらいました。

生米を詰めると破裂の心配がありますが、市販の冷凍のピラフやチャーハンなら失敗もないとか。見



●海辺の宿 清力

唐津市呼子町殿ノ浦167212
TEL 0955-18212311